



令和8年7月21日

奈良県知事 山下 真 殿

生駒市長 小 紫 雅 史



一級河川竜田川の早期河川改修の実施要望について（要望書）

平素より、本市行政につきまして格別のご配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、貴県におかれましては、県土整備行政の推進並びに河川の適切な維持管理にご尽力いただいておりますことに、深く敬意を表します。

さて、令和8年6月26日に発生した豪雨災害により、本市において、現在（令和8年7月6日時点）、床上浸水86棟・78世帯の被害通報を確認しています。被害の多くは一級河川である竜田川流域におけるものであり、特に小瀬工区から生駒工区にかけては河道断面の不足により洪水時の流下能力が十分に確保されていない状況となっていることから、その区域に被害が集中したものと考えています。本市としましては、適切な避難情報の発令・住民の自主避難等に加え、洪水リスクへの継続的な対策の重要性を改めて認識しているところです。

つきましては、一級河川竜田川の治水安全度向上を図るため、昨今の気候変動による気象災害の激甚化・頻発化に対応し、同災害の再発防止を念頭に置いた継続的な洪水対策を実現するにあたり、早期の河川改修に向けた必要な事業費について十分な予算措置を講じ、年度ごとの進捗に応じた安定的な財源確保に努めていただきますようお願いいたします。また、未整備区間については、可能な限り早期の事業着手および予算配分についてご検討いただき、段階的な整備等地域の安全確保に向けた迅速な対応を含めた計画的な河川改修を実施していただくことを要望します。